

ネパール経済ニュース (17年4月) ヘッドライン

経 済	
産業 エネルギー インフラ	<p>(1) 19日、中国は、ケルン・ラスワガディ間の国境ポイントについて国際水準を満たす通過点であり、中国と南アジアを結ぶ主要かつ重要なポイントであることを非公式に述べた。また、中国はケルンからネパールまでの27キロの道路を2車線にするための改修工事を行っている。</p> <p>(2) 20日、2008年4月に開始したクレカニ3水力発電(14MW)は、当初の2012年完工予定から4度の工期延長を繰り返している。</p>
金融 財政 税制	<p>(1) 18日、ネパール中央銀行によると、2015/16における銀行、金融機関、保険会社等による疑わしい取引報告が1,588件あった。1,588件のうち、警察の調査に回されたのは138件だった。</p> <p>(2) 25日、中央統計局は、2016/17年度の経済成長率を6.94%と予測した。なお、昨年度の経済成長率(改定値)は0.01%だった。</p>
雇用 物価	<p>(1) 6日、ネパール中央統計局は、ネパール各地の300地域において4,500世帯を対象に行った国民の年間支出額に関する調査結果を公表した。同調査によると、2015/16年度における一人あたりの年間支出額は前年比8.8%増の70,680ルピーだった。都市部における年間支出額は101,659ルピーであるのに対し、地方では52,007ルピーだった。</p>
貿易 投資 観光	<p>(1) 6日、中国とネパールのJVであるヒマラヤン航空社は、4月28日からネパール・ドバイ間の就航を開始すると発表した。同社によると、同区間の就航は毎日行われ、往復航空券の価格は24,827ルピー(税抜価格)から販売する。(28日、トリブバン国際空港で就航式が行われた。)</p> <p>(2) 11日、ネパール商工会議所連合会(FNCCI)において上級副会長選挙が実施され、シェカル・ゴルチャがキショル・プラダンを大差で破り、当選した。FNCCIの規定によれば、上級副会長が選挙等を行わずに次期会長に就任する。</p> <p>(3) 12日、バワニ・ラナがFNCCI新会長に就任した。ラナ新会長は、女性として史上初のFNCCI会長となった。</p> <p>(4) 18日、インド訪問中のバンダリ大統領は、インド外務省、インド工業連盟(CII)、インド商工会議所連合会(FICCI)共催のプログラムにおいて、ネパールへの投資を呼びかけた。バンダリ大統領は、ネパールの投資環境は良好である、和平プロセスは完了し、経済発展及び繁栄のための舵を切っている、二国間投資促進保護協定(BIPPA)実施のための障害を取り除く手続きをしている等述べた。</p> <p>(5) 19日、中国国家観光局カトマンズ駐在事務所は、ネパール・中国商工会議所(NCCCI)と「中国・ネパール間のシルクロード観光」</p>

	<p>と題したプログラムを共催した。同プログラムにおいて、ディル・ナート・ギリ文化・観光・民間航空大臣は、ネパールにおいて中国人観光客を誘致するため、より簡易的で安価な航空サービスを提供する計画を有している旨述べた。</p> <p>(6) 20日、ネパール産業省は、3月2～3日に行われた「ネパール投資サミット」のフォローアップに関する当地外交団及び国際機関に対する説明会を実施した。</p> <p>(7) 21日、ネパール政府は、アメリカに対して特惠関税の拡大を求めた。</p>
地域経済	<p>(1) 28日、ネパールの中国研究センター(China Study Center)及びネパール戦略センター研究所(Nepal Institute for Strategic Partner)の共催による「一带一路構想と南アジア」と題するプログラムに出席したマハラ副首相兼財務大臣は、ネパールと中国の国境をまたぐカトマンズ・ケルン間の鉄道プロジェクトに関する取極の締結が間近と発言した。</p>